

2019. 4. 25 作成

## 第 24 期日本学術会議政治学委員会第 7 回委員会・会議記録

日 時：2019 年 4 月 25 日（木）12 時 20 分～13 時 25 分

場 所：日本学術会議 2 階特別室

出席者：宇野重規、大山耕輔、荻部直、河田潤一、古城佳子、西川伸一、  
眞柄秀子（五十音順）

### 配付資料

- 1 前回会議記録

### 報告事項

#### 1 2019 年度の予算について

報告とあわせて審議も行ったので、下記審議事項 1 に記載。

#### 2 統計不正問題についての対応について

報告とあわせて審議も行ったので、下記審議事項 2 に記載。

#### 3 その他

大山委員より科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会委員に就任した旨、および同委員会の活動について報告があった。

### 審議事項

#### 1 2019 年度の予算について

古城委員長より今年度の予算執行方針について説明があり、これを承認した。あわせて、各分科会で今後の活動において予算逼迫の可能性が生じた場合には、委員長に相談し調整を委ねることとした。

#### 2 統計不正問題についての対応について

古城委員長よりこの問題について経済学委員会、社会学委員会とならんで政治学委員会からも意見が求められている旨の説明があった。審議の結果、各委員から意見を提案できる適任者を連携会員であると否とにかかわらず、

取りまとめ役の北村行伸・経済学委員会委員長に推薦することとした。

### **3 分野別研究評価の実態調査（緊急調査）への回答について**

三成美保・科学者委員会研究評価分科会委員長より協力依頼があった、分野別研究評価の実態調査に対する政治学委員会の回答方について審議した。その結果、次のとおり進めることが申し合わされた。①古城委員長が連携会員あての協力依頼文書を作成する、②各分科会委員長がそれを添えてそれぞれの連携会員にアンケートへの回答を依頼する、③各分科会委員長がその結果をとりまとめて委員長に報告する。

### **4 2019年度の政治学委員会の活動について**

前回会議記録4に記された活動方針に従って、今後も活動を行っていくことを確認した。すなわち、高等学校新科目「公共」で重視されているアクティブラーニングにつき、どのようなテーマが考えられるかを各分科会で連携会員に意見を照会し、それを次回委員会で各分科会委員長から報告することとした。

### **5 その他**

特になし。

次回政治学委員会は2019年10月の日本学術会議総会開催時に開催する。

以 上